

平成 20 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 アサヒプリテック株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 寺山満春
(コード番号 5855 東証第 1 部)
問い合わせ先 取締役財務担当 田辺幸夫
(TEL.03-6270-1820)

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 12 日に公表した、平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)の連結業績予想、平成 21 年 3 月期通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の連結業績予想、および平成 21 年 3 月期の期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 5 月 12 日発表)	60,000	5,500	5,500	3,200	円 銭 93 60
今回修正予想(B)	79,000	2,300	2,300	1,400	40 93
増減額(B-A)	19,000	3,200	3,200	1,800	-
増減率	31.7%	58.2%	58.2%	56.3%	-
前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	54,392	4,998	5,040	2,960	82 07

2. 通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 5 月 12 日発表)	130,000	12,000	12,000	7,000	円 銭 204 75
今回修正予想(B)	125,000	2,500	2,500	1,600	46 77
増減額(B-A)	5,000	9,500	9,500	5,400	-
増減率	3.8%	79.2%	79.2%	77.1%	-
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	117,460	10,825	10,858	6,450	180 93

3. 配当予想の修正

	1株当たりの 中間配当金	1株当たりの 期末配当金	1株当たりの 年間配当金
前回発表予想 (平成20年5月12日発表)	25円00銭	30円00銭	55円00銭
今回修正予想	25円00銭	25円00銭	50円00銭
前期実績 (平成20年3月期)	25円00銭	25円00銭	50円00銭

4. 業績予想修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、貴金属リサイクル事業分野における、金・銀・プラチナ・パラジウム・インジウム・ロジウム等の貴金属の回収量が堅調に推移し、金属平均販売単価も平成20年5月12日の業績予想時の想定を上回って推移したことから、第2四半期連結累計期間の売上高は前回予想値を大きく上回る見込みであります。一方、金属相場は、第2四半期末日にかけて急落し、たな卸資産の簿価を時価まで引下げる低価法評価損失34億円を生じたことにより、第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想値を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。

(2) 通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

世界経済は深刻な金融危機に直面し、大幅な下降局面に入りつつあると思われ、金属価格についても厳しい状況が続くことが見込まれます。

このような経済状況のもと、貴金属リサイクル事業分野における、金属の販売価格及びたな卸資産の評価等を見直したことにより、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想値を下回る見込みとなりましたので、上記の通り修正いたします。たな卸資産の低価法評価損失として、下期は40億円を通期は74億円を見込んでおります。

5. 配当予想修正の理由

当社グループは、企業価値向上を図り、配当などを通して株主のみなさまの期待に応えることを基本方針としています。この基本方針のもと、平成21年3月期期末配当金の増配を予想していましたが、しかしながら、今回の業績予想修正に伴い、通期連結純利益の減少が見込まれるため、上記の通り修正いたします。

なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、金属相場変動等によって変動することがあります。

以上